

家畜衛生情報

ウイルスの侵入を予防しましょう

今年は今明けから気温の変動が大きく、県内各地で牛のウイルス病が多発しています。

車両の消毒、踏込み消毒層の薬液交換、農場専用長靴の洗浄、場内専用服の洗浄消毒、導入牛の隔離飼育、予防を考えたワクチン接種など、農場にウイルスを持ち込まないよう防疫対策の強化をお願いします。

<県内の発生事例>

1. 牛コロナウイルス病(飛騨地域)

- 農場: 和牛繁殖農場
- 症状: 育成牛および成牛における血様下痢便
同居子牛に異常認めず



2. 牛RSウイルス病(西濃地域)

- 農場: 乳肉複合農場
- 症状: 子牛の発熱、鼻汁
ホルスタイン成牛でも同様の症状を認める



3. 牛RSウイルス病疑い(中濃地域)

- 農場: 酪農
- 症状: 子牛の発熱、鼻汁

(この他にも、呼吸器病が集団発生している農場があるようです。)

<ウイルスの侵入予防対策>

- ・ 消石灰の散布
農場出入口・農場内に消石灰散布
- ・ 入場車両の消毒
車両全体を念入りに洗浄・消毒
- ・ 農場専用の衣類と長靴を使用
- ・ 導入牛の隔離
2～4週間、健康状態を観察



★異状に気づいたら、すぐに家畜保健衛生所に連絡してください。



東濃家畜保健衛生所

TEL0573-26-1111(内395) FAX0573-25-7669

E-mail: c24507@pref.gifu.lg.jp